

幼稚園に災害バルクを設置

幼児の安全と父兄の安心に貢献

学校法人寿なとり学園 なとり幼稚園 (宮城県名取市)

LPガス災害バルクと発電機で避難所機能強化

学校法人寿なとり学園はLPガス災害バルクと非常用発電機を導入し、**名取市に幼児の一時避難所としての施設提供**を申し出た。**幼児の安全を確保し父兄も安心**できることで、**市は災害復旧の一助**となると考え、同学園と災害時応援協定を結んだ。

協定を申し出たきっかけは、就学前の幼児にとって災害時に指定避難所で暮らすことは、自宅を離れる不安を抱えて多くの人と過ごさなければならぬため、負担が大きいと考えてのこと。

ユーザーの声



学校法人寿なとり学園
理事長

佐藤 宏郎 さん

非常時も幼児が安心して待機できる施設に

東日本大震災の当日、最後に子どもを親御さんに引き渡したのは夜8時頃で、園の職員はその日は帰宅できませんでした。**この時、食料の備蓄と暖を取れる環境の整備が必要だと感じました。**

これから開園する保育園を含め計4カ所で、約1,000人のお子さんを預かります。必要性を感じていた、**非常時に子どもが安心して待ってられる施設ができた**と思います。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (300kg)
- ・非常用LPガス発電機 (8kVA)
- ・投光器
- ・炊き出しステーション
- ・ガスストーブ×2台



なとり幼稚園



災害バルク貯槽と非常用発電機